



輝く笑顔が見られた26人の児童

5月23日 【栗林小学校】

### 「栗っ子魂」を発揮 栗林小学校 最後の運動会

本年度で閉校する栗林小学校で最後の運動会が開かれ、児童26人がソーランや応援合戦に全力で取り組みました。運動会には卒業生や地域住民も集まり、学校にゆかりのある多くの人が声援を送りました。閉会式では、全員で校歌を歌い思い出を胸に刻みました。児童たちは「栗っ子魂」を発揮し、仲間や地域への感謝を胸に、最後の運動会をつくり上げました。



竣工を祝った関係者ら

5月22日 【ユーラス釜石広域ウインドファーム】

### 「ユーラス釜石広域ウインドファーム」 風車11基を建て替え運転再開

釜石市、遠野市、大槌町にまたがるユーラス釜石広域ウインドファームの竣工式が行われ、関係者が完成を祝いました。風車の発電規模を1,000kWから4,200kWに大きくし設置基数は43基から11基とした建替工事が行われ、令和8年3月1日から運転を開始しています。新たな風車は発電効率の向上が図られており、竣工式で関係者は、今後の安全な運転を願いました。



釜石駅前広場に花を植えた皆さん

5月23日 【釜石駅前広場】

### ボランティアの力で 釜石駅前広場を色鮮やかに

毎年恒例の釜石駅前広場の花植え作業が行われ、釜石市赤十字奉仕団、市内高校生、明治安田生命職員などの約50人のボランティアが参加しました。マリーゴールド、ブルーサルビアの2種約400株が植えられた花壇は、市の玄関口である釜石駅前に彩りを与え、訪れる人の目を楽しませています。



代表取締役 吉井豊さんととの記念撮影

6月1日 【市長室】

### アンテナ(株) 企業立地協定を締結

市は、ホームページ制作やインターネット戦略立案などを手がけるアンテナ(株)と企業立地協定を締結しました。同社は、大手企業や全国の自治体のホームページ管理の他、コンサルティング業務などを担い、釜石支社の設置は全国で5拠点目となります。市内事業者の情報発信支援などを通じた地域や地場企業との協働により、地域経済活性化や新たな雇用創出が期待されます。

4月17日 【市長室】

### 釜石の子どもたちへエールと希望 菊池流帆選手から寄付

釜石応援ふるさと大使で、サッカーJ1・FC町田ゼルビア所属の菊池流帆選手が、市へ50万円、少年サッカークラブ「FC釜石」へ試合球6個を寄付しました。「少しでも地元の子どもの希望になれば」と語る菊池選手。右膝の大ケガで戦線離脱中でしたが、現在は全体練習に参加するほどに回復し、1日も早い実戦復帰が期待されます。菊池選手に釜石からもエールを送りましょう！



Instagram



菊池流帆選手

5月2日-3日 【サン・フィッシュ釜石 他】

### 駅前彩る春のにぎわい 笑顔あふれる かまいし春まつり

かまいし春まつりが開かれ、釜石駅前周辺は多くの家族連れや観光客でにぎわいました。サン・フィッシュ釜石では、毛ガニ釣りや初開催のニジマスのつかみ取りが人気を集め、子どもたちは歓声を上げながら挑戦しました。シーブラザ釜石では、釜石ラーメンの早食い競争「腹ペコまつり」が行われ、参加者が熱々のラーメンを勢いよく食べ進めながら熱戦を展開し、応援者たちからは熱い声援が飛びました。



釣り上げるたびに大きな歓声が上がった毛ガニ釣り

5月2日-3日 【シーブラザ釜石】

### 郷土芸能の魅力に触れる 虎舞体験で伝統を次世代へ

郷土芸能体験教室が開かれ、参加者は釜石虎舞の演舞を鑑賞し、基本動作を体験しました。2日は尾崎町虎舞を継承する尾崎青友会、3日は錦町虎舞を継承する錦町青年会が指導を担当しました。参加者は実際に虎頭を持ちながら舞や太鼓に触れ、地域に受け継がれる郷土芸能の魅力や奥深さを学びました。体験を通じて、伝統文化を未来へつなぐ担い手への関心を高める機会となりました。



基本姿勢を教わる子どもたち

5月21日 【釜石消防署】

### いち早く駆け付け民家延焼阻止 釜石市消防団に日本消防協会から支援金

4月22日に発生した大槌町の山林火災で消火活動に当たった釜石市消防団に対し、日本消防協会から災害対策支援金100万円が贈られました。火災発生日、応援要請を受けた消防団員は現地へ駆け付け、大槌町消防団などと連携し消火活動を行い、夜通しの放水で民家への延焼を防ぎました。支援金は、今後の消防団活動に活用されます。



日本消防協会からの災害対策支援金の目録を手渡す